

# 地域ネットワークニュース

～令和6年8月の勉強会のお知らせ & 令和6年7月の勉強会報告～

第289回 地域ネットワーク勉強会 ※大人の発達障害支援 基礎研修会と合同開催

## 大人の発達障害についての理解～基礎編～

うるのたかし

講師：宇留野 高嗣 氏 (社会福祉士・精神保健福祉士)

茨城県発達障害者支援センター COLORSつくば

日時：8月29日(木)

時間：午後7時～午後9時

場所：保健・福祉会館1階 集会室B

定員：50名 (要事前申込)



発達障害とは、先天性の脳機能の障害とされており、大人になってから発症することはありません。しかしながら進学や就職などの環境変化により「コミュニケーションがうまく取れない」、「同じミスを繰り返し何度も注意を受けてしまう」などの経験から生きづらさを感じるようになることがあります。このような生きづらさ＝(イコール)発達障害ではないことに注意は必要ですが、少なくとも「生きづらさに悩んでいる」方にとっては周囲の関係者が正しい知識を持ち適切な関わりや理解、特性に応じた環境調整を行うことで、生きづらさの解消につながります。そこで今回の勉強会は、茨城県発達障害者支援センターCOLORSつくばの宇留野さんをお招きし、大人の発達障害の特徴や基礎的な知識、適切なサポートが受けられないことで起こるとされる二次障害について、数多く受けている相談の中から具体的事例や県内の現状と課題を交えてお話をいただきます。業務の都合等で3日間すべての研修会に参加できない方でも参加可能です。福祉サービスの調整や事業所、職場などで発達障害を抱える方と関わる機会の多い計画相談員や就労支援事業所の職員、企業の採用担当の方、また“大人の発達障害”に興味関心がある方など多くの皆様の参加をお待ちしています。

会場には情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所等のパンフレットやチラシ、研修会のご案内など、配布、展示いたします。当日のご持参でもかまいません。みなさまからの情報をお待ちしています。

申込・問合せ先 神栖市社協 地域福祉総合相談センター 電話 0299-93-0294

第288回 地域ネットワーク勉強会報告 令和6年7月19日開催 <参加者58名>

## 高次脳機能障害支援センターと白十字総合病院の取り組み

～高次脳機能障害地域支援拠点病院の機能と連携～

講師：高松 麻美子氏 (茨城県高次脳機能障害支援センター)

関 優治氏 (社会福祉法人 白十字会 白十字総合病院)



今回の勉強会では、茨城県高次脳機能障害支援センターの高松さん、白十字総合病院の関さんをお招きし『高次脳機能障害』をテーマにお話いただきました。

高松さんからはセンター業務の4本柱として『相談支援』、『人材育成』、『普及啓発』、『連携構築』があげられました。特に連携構築については平成31年から高次脳機能障害の診断に協力いただける病院として『高次脳機能障害支援協力病院』の指定を開始し、現在36カ所の医療機関が指定を受けていること、また更なる支援ネットワークの構築を進めるために各地区にセンターの4本柱と同様の対応を行う『高次脳機能障害地域支援拠点病院』を県内6カ所に設置していることについて説明がありました。関さんからは、令和6年4月から県内で6カ所目の地域支援拠点病院として白十字総合病院が鹿行地区で唯一指定されたことについてご説明いただき、相談から受診、診断からリハビリまでの流れなどについてお話いただきました。

高次脳機能障害のある方への支援について、高松さんからは支援者が孤独にならないように周囲の関係者との連携を大切にしてもらいたい、また関さんからは地域支援拠点病院としての今後の展望を交えながら、まずは顔の見える関係を作っていきたいと呼びかけがありました。